

太田油脂株式会社

稀有な企業姿勢

「えごま油をなりわいとして歩みつつ、飲食店といった企業用には業務用調味油を、アレルギーのある子どもたちにはアレルギー対応おやつを開発。そして地元には、保育所や老人ホームも…。つねに困りごと解決に柔軟な対応をしてきた、太田油脂株式会社。その想いを伺うと、地元である岡崎を中心に、優しい輪を描き広がる様子がイメージできました。」

こだわりは「搾るだけ」
昔ながらのシンプルな製法
えごま油に亞麻仁油、アレルギー対応の菓子、にんにくなど
香味食材の香りを封じ込めた
オイリーシーズニング(油性調味料)、そして宮内庁や伊勢神宮に納めると、燈明油…。長きにわたつて油の製造を担つてきた、太田油脂の製品ラインナップは、枚挙に暇がありません。早くから油という生活必需品に注目

し発展してきたといふ、同社。その創業について、専務取締役の後藤康夫さんは笑顔で語ってくれました。

「もともとナタネ産地だったこの地で、米穀肥料商として創業しました。その付加価値を高めるためにスタートさせたのが、油の圧搾だったというわけです。その後も、当時珍しかったトウモロコシ油の圧搾や、油かすを原料とする肥料生産や同社が早くから取り組んだBDF(バイオ

太田油脂株式会社 専務取締役 後藤康夫さん

ディーゼル燃料)づくりといった資源利用まで、油ひとすじでBDFで走っています。

そんな太田油脂の代名詞と

して知られるのが、人の体内で生成できない「オメガ3」を含む、えごま油。今や産後うつや花粉症

軽減にも定評があるえごま油

また、ほかの油を含め、その製法はいたつてシンプルです。

「いわば、『搾るだけ』なんですよ。一般的の食用油が最大量を搾るために薬品を使用するのに対し、私たち薬品を、いつさい使いません。それよりも、圧搾時の温度やスピードを細やかに調整することで、圧搾量を最大に近づけます。それゆえ、油かすに油分が残りますが、それは植物用の肥料や、配合飼料に。SDGsが叫ばれるはるか前から、資源循環を

あります。

えごま油。今や産後うつや花粉症

軽減にも定評があるえごま油

また、ほかの油を含め、その製法はいたつてシンプルです。

「いわば、『搾るだけ』なんですよ。一般的の食用油が最大量を搾るために薬品を使用するのに対し、私たち薬品を、いつさい使いません。それよりも、圧搾時の温度やスピードを細やかに調整することで、圧搾量を最大に近づけます。それゆえ、油かすに油分が残りますが、それは植物用の肥料や、配合飼料に。SDGsが叫ばれるはるか前から、資源循環を

あります。

えごま油。今や産後うつや花粉症

軽減にも定評があるえごま油

また、ほかの油を含め、その製法はいたつてシンプルです。

「いわば、『搾るだけ』なんですよ。一般的の食用油が最大量を搾るために薬品を使用するのに対し、私たち薬品を、いつさい使いません。それよりも、圧搾時の温度やスピードを細やかに調整することで、圧搾量を最大に近づけます。それゆえ、油かすに油分が残りますが、それは植物用の肥料や、配合飼料に。SDGsが叫ばれるはるか前から、資源循環を

あります。

えごま油。今や産後うつや花粉症

軽減にも定評があるえごま油

また、ほかの油を含め、その製法はいたつてシンプルです。

えごま油。今や産後うつや花粉症